

地雷で傷ついたアフガニスタンの子供たちに 車椅子を贈るベネフィットコンサートPART18



故H.J.ロッチュ氏(指揮者)の提唱で始められました。

16年間で1330万円以上の募金により380台の車椅子を贈り、180台の車椅子を修理しました。



2002年にこのプロジェクトを始めた時、これほど長く続けることになるとは誰が予想していたでしょう。アフガニスタン全体では今でも十数万台以上の車椅子を求める人たちがいます。皆様の募金により、現地カブールで車椅子が生産できるように応援し、支援していきたいと思ひます。

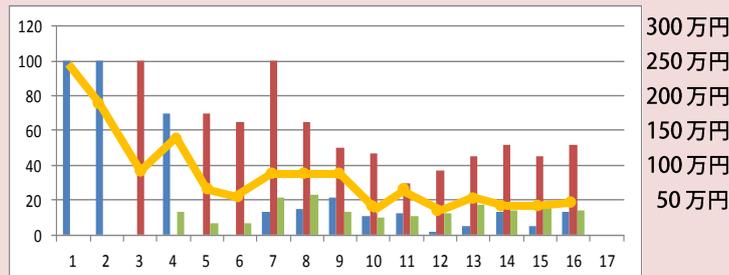
このベネフィットコンサートは指揮者故 H.J.ロッチュ氏の提唱で2002年に始められました。そしてそのコンサートで集められた募金、チケット代金をもとに、多くの NPO、NGO の協力で、タイで造られた車椅子は海路、陸路を経てカブールまで届けられ、車椅子の到着を待っていた子どもたちに配られました。05年からはカブール在住のザビー・アマディヤールさんがパキスタン製の車椅子を現地で購入し、すでに贈った車椅子の使用状態を巡回フォローし、補修を行っています。

身障者はある団体から無料で車椅子を入手することができます。しかしそのためには、通学さえできない身障児童にとっては極めて困難な煩雑な手続きが必要です。また車椅子を分配するだけで、全くアフターサービスを行っていません。従って私たちの活動は極めて特異で、特に他団体への応募もできない事情をかかえた生徒を主に対象にしています。更に道路状況の悪い中で利用し、壊れてしまった車椅子のアフターサービスについては、大変重要な仕事と考えています。

この「地雷で傷ついたアフガニスタンの子供たちに車椅子を贈るベネフィットコンサート」は今回で18回目を迎え、国際協力と平和の推進を図る NPO 法人おんがくの共同作業場の恒例事業となっています。ひとりでも多く、車椅子を待っているこどもに、そしてその家族にも笑顔を贈りたいと思ひます。関係する団体や、経路、システムを変更しながらも16年間継続してきたおんがくの共同作業場による「アフガニスタンに車椅子を贈るプロジェクト」は、これからも継続していきます。



■送金額 ■配布した車椅子 ■フォロー ■修理台数の推移



現地から報告があったもののみを掲載

★ホームページからもご寄付いただけるようになりました。 <http://gmaweb.net/npo/>

「おんがくの共同作業場」 ⇒ ♥寄付について ⇒ クレジットカードによるご寄付のお申し込みはこちらから

★現金での募金の際に、お名前、ご住所をお書きいただいた方には後日領収書を発行いたします。

認定 NPO への合計 2000 円を超える寄付については、所得税申告の際に寄付控除が受けられます。